

授 業 科 目	地元学特論—あるもの探しのまちづくり		
単 位 数	2	授 業 形 態	講義・フィールドワーク
担 当 教 員	河音 琢郎・鈴木 裕範		
実 施 日 ・ 時 間	10月2日(土) 13:00~17:00 [河音]		
	10月30日(土)【現地調査】 [河音・鈴木]		
	10月31日(日)【現地調査】 [河音・鈴木]		
	11月27日(土)【現地調査】 [河音・鈴木]		
	11月28日(日)【現地調査】 [河音・鈴木]		
	12月18日(土) 13:00~17:00 [河音]		

【講義内容】

地元学とは、地元の人(土の人)と外部の人(風の人)とが協働して、地域の「あるもの探し」を通じて、地域の良さを再発見し、それをつないでいって、地域づくりに役立てていこうという実践的な営みです。この講義では、地元学の基本的な考え方や手法について学んだうえで、紀南地域(那智勝浦町)と泉州地域(岸和田市)との2度のフィールドワークで、「地域資源マップ」づくりという、地元学の基本的な手法に実際にとりくむなかで、地域づくりの実践的な力量を身につけていくことをめざします。

・第1回(10月2日)

テキストをもとに、地元学の基礎を学びます。同時に、第2回以降のフィールドワークと地域資源マップづくりの準備作業を行います。

・第2・3回(現地調査①)那智勝浦町太田流域、第4・5回(現地調査②)岸和田市

テーマごとに5~10人単位での班に分かれて、調査の方向性を確かめた後、地元の方と一緒に現場を歩いて回り、その調査結果を地域資源マップとしてまとめ、中間発表を行います。

現地調査は、南紀熊野サテライトと合同で実施します。

・第6回(12月18日)

岸和田市で実施したフィールドワーク、地域資源マップをもとに、それらを取りまとめ、最終発表とまとめを行います。

【テキスト・教材】

吉本哲郎『地元学をはじめよう』岩波ジュニア新書、2008年、ISBN:978-4-00-500609-0、780円+税

【事前学習】

テキストは、事前に読んだうえで、第1回目の授業に出席してください。

【注意事項】

第2回~第5回の現地調査にあたっては、以下の経費は自己負担となります。ご了解ください。

- ・現地までの交通費
- ・宿泊する際の宿泊費
- ・フィールドワーク実施にあたっての保険加入料

また、フィールドワークにあたっては、1日目の授業終了後、地元の方に参加いただいての懇親会を予定しています。参加は任意ですが、ふるってご参加ください。

現地調査にあたっての経費の詳細については、具体的に確定次第、サテライトオフィスを通じてアナウンスする予定です。